

学校の様子（がんに関する講演会）

今回は、12月14日（水）午後に行った「がんに関する講演会」を紹介します。



講師として、小平市花小金井にある、公立昭和病院の産婦人科部長の武知公博（たけち きみひろ）先生をお招きし、「①がんについて、正しく理解する。②健康と命の大切さについて考える。」を目的として行いました。

武知先生の専門分野は、婦人科腫瘍学（手術・化学療法）です。

新型コロナウイルスの対策として、オンラインでの講演となりました。

優しい語り口で、患者様やそのご家族などに寄り添いながらも、日々、がんや婦人科の手術などに奮闘されている様子を感じることができました。

主な内容としては、次のとおりです。

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| ①がんという病気について | ②がんの発生と進行 | ③がんの予防について |
| ④がんの検診について | ⑤がん患者との接し方 | |

日々の生活や健診の大切さを学ぶとともに、がんの患者の方が周囲におられる時の接し方として、「なんでもない話をして、一緒に笑って、共に過ごすことで、『患者』としてではない、これまで通りの『その人』として接することが大切」というお話に、人と人とのコミュニケーションの基本を改めて感じることができました。

ここでは、生徒の感想を一部紹介します。

- がんになってしまったら、治らないようなイメージがなんとなくあったのですが、今は、早期に発見することができたら、手術などをすれば治ることもあると知って安心しました。だから、私も、早期に発見できるように定期的に検診にいかうと思いました。がんについて、教えていただき、ありがとうございました。
- 私の父親がタバコを吸っています。今回の講話で、男性は女性より死亡する確率が2倍も高いと知り、不安な気持ちになりました。少しでも長生きしてほしいし、がんのリスクを低くしてもらうため、禁煙するように勧めたいと思いました。